

# 外用殺菌消毒剤

日本標準商品分類番号：872619  
薬価基準収載

クロルヘキシジン製剤

0.05% 0.1% 0.5%

ヘキザック®水R

滅菌  
製剤

5%ヘキザック®液



**禁忌**(次の患者及び部位には使用しないこと)

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 脳、脊髄、耳(内耳、中耳、外耳)  
〔聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。〕
3. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面  
〔クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。〕
4. 眼

クロルヘキシジン製剤

0.02% 0.05% 0.1% 0.5%

ヘキザック®水W

滅菌  
製剤

ヘキザック®消毒液20%

日本薬局方 クロルヘキシジングルコン酸塩液



**禁忌**(次の患者及び部位には使用しないこと)

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 脳、脊髄、耳(内耳、中耳、外耳)  
〔聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。〕
3. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面  
〔クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。〕



5%ヘキザック<sup>®</sup>液、ヘキザック<sup>®</sup>水R：界面活性剤と色素を含む

ヘキザック<sup>®</sup>消毒液20%、ヘキザック<sup>®</sup>水W：界面活性剤と色素を含まない

## 特 徴

- 殺菌作用は迅速でかつ持続性があります。
- 使用目的に対応できる実用濃度液が揃っています。\*
- 広範囲の細菌、真菌、一部のウイルスに対して幅広い抗微生物スペクトルを示します。
- 希釈ミスがなく正しい濃度で使用できます。\*
- 刺激性が少なく低濃度で効果を発揮します。
- 製剤業務の省力化が可能です。\*
- 容器は減容して廃棄できます。(500mL)
- 実用濃度液は滅菌製剤です。\*

※実用濃度の特徴です。

## 有 効 性

### 各種細菌・真菌(酵母)に対する殺菌効果【欧州標準法(EN1276、EN1650を準用)】<sup>1)</sup>

ヘキザック消毒液20% (界面活性剤非添加製剤) および5%ヘキザック液 (界面活性剤添加製剤) を滅菌精製水を用いて作用時に実用濃度 (0.02%\*、0.05%、0.1%、0.5%) となるよう希釈し、各種細菌および真菌(酵母) に対する殺菌力試験をおこなった。その結果、5%ヘキザック液希釈製剤は黄色ブドウ球菌、緑膿菌、大腸菌に対して1分の作用で各添加菌数を検出限界以下に低下させた。一方、ヘキザック消毒液20%希釈製剤は緑膿菌、大腸菌ならびにカンジダに対してはすべての作用濃度において、5分の作用で各添加菌数を検出限界以下に低下させ、即効的な殺菌効果が認められた。

\*界面活性剤非添加製剤のみ

供 試 菌 株	製品名	5%ヘキザック液			製品名	ヘキザック消毒液20%			
		作用濃度	0.05%	0.1%		0.5%	作用濃度	0.02%	0.05%
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC6538	1分	>5	>5	>5	1分	2.6	3.1	3.2	4.2
	5分	>5	>5	>5	5分	3.8	4.3	4.7	>5
	15分	—	—	—	15分	4.5	>5	>5	>5
<i>Enterococcus hirae</i> ATCC10541	1分	0.9	1.9	1.1	1分	0.0	0.0	1.0	0.7
	5分	4.5	>5	>5	5分	0.2	0.5	1.5	3.6
	15分	>5	>5	>5	15分	0.6	1.0	2.3	4.9
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC15442	1分	>5	>5	>5	1分	4.6	>5	>5	>5
	5分	>5	>5	>5	5分	>5	>5	>5	>5
	15分	—	—	—	15分	—	—	—	—
<i>Escherichia coli</i> ATCC10536	1分	>5	>5	>5	1分	4.7	>5	>5	>5
	5分	>5	>5	>5	5分	>5	>5	>5	>5
	15分	—	—	—	15分	—	—	—	—
<i>Candida albicans</i> ATCC10231	1分	3.8	>4	>4	1分	2.7	3.5	3.7	>4
	5分	>4	>4	>4	5分	>4	>4	>4	>4
	15分	—	—	—	15分	—	—	—	—

>4 : LRV4以上(滅菌率99.99%以上) >5 : LRV5以上(滅菌率99.999%以上) — : 未実施

(結果は複数回試験を実施した平均値です)

1) 吉田製薬株式会社社内資料



滅菌製剤

0.05%ヘキサック®水R

0.05% Hexizac Water R ●クロルヘキシジン製剤

滅菌製剤

0.1%ヘキサック®水R

0.1% Hexizac Water R ●クロルヘキシジン製剤

滅菌製剤

0.5%ヘキサック®水R

0.5% Hexizac Water R ●クロルヘキシジン製剤

5%ヘキサック®液

5% Hexizac Solution ●クロルヘキシジン製剤

滅菌製剤

0.02%ヘキサック®水W

0.02% Hexizac Water W ●クロルヘキシジン製剤

滅菌製剤

0.05%ヘキサック®水W

0.05% Hexizac Water W ●クロルヘキシジン製剤

滅菌製剤

0.1%ヘキサック®水W

0.1% Hexizac Water W ●クロルヘキシジン製剤

滅菌製剤

0.5%ヘキサック®水W

0.5% Hexizac Water W ●クロルヘキシジン製剤

ヘキサック®消毒液20%

Hexizac Antiseptic Solution 20% ●クロルヘキシジン製剤

Table with columns for product name, classification number, approval number, etc.

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌（原則禁忌を含む）、使用上の注意等のご留意下さい。

【禁忌（次の患者及び部位には使用しないこと）】

- 1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 脳、脊髄、耳（内耳、中耳、外耳）
3. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面
4. 眼

組成・性状

1. 組成

0.05%ヘキサック水R:本剤100mL中クロルヘキシジングルコン酸塩0.05gを含む。添加物としてラウロ...

効能・効果及び用法・用量

Table with columns for efficacy/effect and usage/dosage, detailing application for various body parts.

使用上の注意

- 1. 慎重投与（次の患者には慎重に使用すること）
2. 重要な基本的注意
(1) ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴、薬物過敏性体質の有無について十分な問診を行うこと。

- (5) 本剤が眼に入らないように注意すること。目に入った場合は直ちに水でよく水洗すること。
(6) 結膜囊等に敏感な組織に使用しなげなければならない場合には、濃度に注意し、使用後滅菌水で水洗すること。

3. 副作用

- 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1) 重大な副作用
ショック(0.1%未満)、アナフィラキシー(頻度不明)：ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に払い、血圧低下、尊麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

4. 適用上の注意

- (1) 投与経路：外用にのみ使用すること。
(2) 使用時
1) 注射器、カテーテル等の神経や粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
2) 本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生成することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。

5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

薬効薬理

- 1. 低濃度では細菌の細胞膜に障害を与え、細胞質成分の不可逆的漏出や酵素阻害を起こし、抗菌作用(殺菌作用)を示す。高濃度では細胞内のタンパク質や核酸の沈着を起こすことにより、抗菌作用を示す。
2. 生物学的同源性
0.05%、0.1%、0.5%ヘキサック水Rと標準製剤に任意に希釈し菌液と接触させたとき、両剤の生存菌数の経時的変化には相関がみられ、生物学的同源性が認められた。

取扱い上の注意

- 1. 希釈水溶液を調整する場合は、精製水を使用して滅菌することが望ましい。
2. 本剤を取扱う容器類は常に清潔なものを使用すること。
3. 手洗い等に使用する場合は、少なくとも毎日新しい溶液と取り換えること。
4. 器具類の消毒に使用する本剤の希釈水溶液には、必要に応じ防錆剤として亜硝酸ナトリウムを1g/L添加する。

5%ヘキサック液、20%ヘキサック液

- 1. 本剤の希釈に常水を用いる場合、その中に含まれる硫酸イオン等の濃度により、漸次白色～紅色の沈殿を生じることがあるので、希釈水溶液を調整する場合は、精製水を使用することが望ましい。
2. 本剤の希釈水溶液のpH8以上の場合は、沈殿を生じる。
3. 本剤を取扱う容器類は常に清潔なものを使用し、希釈水溶液は、調整後直ちに使用すること。

5%ヘキサック液、ヘキサック消毒液20%：2017年10月改訂



ヨシダ製薬

製造販売元

吉田製薬株式会社

埼玉県狭山市南入曽951

【製品情報サイト】 http://www.yoshida-pharm.jp/

資料請求先

吉田製薬株式会社
東京都中央区中央5-1-10
Tel: 03-3381-2004

11905KK
400156